

# 子育てと循環の

## 森づくりワークショップ

楽しみながら子どもと森をつなぐ、エコロジカルデザイン!

子育て支援者(保育、児童館、学童など)、  
指導者(幼稚園、学校関係)で  
森や野外をフィールドにした活動に  
興味がある方は必見!



これまで、ありそうでなかった、  
子どもたちに関わる2つの視点から  
森づくりに取り組みます。

### 子育ての森

子どもたちの五感を  
ひらいていく児童福祉的視点

### 循環の森

エネルギーと森の更新が  
実感できる環境教育視点

### 自然エネルギーを活かした循環型の生活がベース

自然エネルギー滞在研修棟「エコキャビン」に宿泊。  
環境教育を実施する上で重要となる生活をエコロジカルに  
変えていくヒントがたくさん詰まっています。



森と風のがっこうは設立10周年。  
森と生活を結ぶフィールド整備がいよいよ  
始まります。

昔、ドイツで見た森林公園は五感を全開  
にして遊べる、子どものための遊びの森  
でした。どうせやるなら、これまで日本に  
なかった「子育ての森」と「循環の森」を  
組み合わせたエコロジカルデザインを体  
現したものになりたいと思っています。えほ  
んも屋外遊具もデザイン心もいっぱい  
の森で、幼児や家族連れのみなさんといっ  
しょに遊ぶ日を夢見ています。

東日本大震災の起きた今だからこそ、足  
元から着実に、子どもたちのための「森」  
をひらくことを全力で始めたいと思  
います。

幼児教育や野外保育に関心ある指導者・  
支援者のみなさま、幼児をもつお父さん  
お母さんの参加をお待ちしております。

NPO法人岩手子ども環境研究所  
理事長 吉成 信夫

## 日程・内容

毎回、吉成による、子育て講座「森がひらく子どもたちの心とからだ」があります。

### 第1回 森の調査とデザイン

5月3日(火・祝) ▶ 5日(木・祝) 2泊3日

講師 外久保 篤雄さん(調査)  
高田 研さん(デザイン)

[森の調査]  
実を付ける、遊べるといった視点から森を  
見てみよう。

[森のデザイン]  
子どもたちがいきいきと過ごせる森の使い方、  
整備の方法を考えてみよう。

### 第2回 子育ての森

～アートオブジェづくり～

7月16日(土) ▶ 18日(月・祝) 2泊3日

講師 小池 雅久さん

子どもたちが五感をひら  
いていく森づくりに取り  
組めます。五感をひらく  
きっかけとなるような、  
アートオブジェを森の中  
に設置していきましょう。



### 第3回 循環の森

～ミズナラの伐採と利用、植林～

9月17日(土・祝) ▶ 19日(月・祝) 2泊3日

講師 外久保 篤雄さん

森のエネルギーの利用と  
森の更新が実感できる森  
の整備を行います。循環  
の森の区画を分けて、実  
際に森から木を伐り出し、  
森のエネルギーを实际に  
生活の中で利用していき  
ます。



森と風のがっこう

詳しいお申し込み方法は  
裏面をご覧ください。



開催要項

<b>対象</b>	森づくり、環境教育、子どもの健全育成、子育て支援などに関心のある方。 (森づくりや環境教育に関わる市民、ボランティア、学生、幼稚園、学校関係のみならず、保育、児童館、子育てサークルなどに関わる方など)	<b>開始・終了時間</b>	初日13時開始～最終日12時終了
<b>場所</b>	森と風のがっこう(岩手県岩手郡葛巻町) [最寄の下車駅:東北新幹線 いわて沼宮内駅] ※原則、現地集合解散となりますが、最寄のバス停からの送迎も相談にのります。	<b>費用</b>	各回1万円(宿泊、食費、保険等含む) ※1回のみ参加も可能です。
<b>定員</b>	各回15名	<b>お申し込み</b>	下記の必要事項を明記の上、郵送、FAX、E-mailにてお送りください。 【申込み必要事項】 (1)参加月 (2)氏名・ふりがな (3)性別 (4)生年月日 (5)所属or普段のお仕事 (6)〒・住所 (7)TEL・FAX・E-mail

講師プロフィール

**5月 森のデザイン担当**  
**高田 研**  
 (都留文科大学社会学科環境コミュニティ創造 教授)  
 専門は、環境教育学。兵庫・大阪で小中学校の教員をスタートに、国立社会教育施設、林業の専修学校と様々な学びの現場に立ってきた。現在は都留文科大学において環境教育を担当している。林野庁において森林環境教育の委員をしており、近年は山里における環境教育の実践を手がけている。吉成さんの生き方に惚れ込んだ森風ファンの一人。学生たちと森と風のがっこうのある上外川地域でのフィールドワークを実施している。(財)公害地域再生センター(あおぞら財団)理事。ボランティア学習協会理事。



**7月 子育ての森づくり**  
**小池 雅久**  
 (彫刻家、RIKI-TRIBAL主宰)  
 武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻修士課程修了。90年代中頃より、店舗・住宅に制作の中心を置きつつ、コミュニティー(人が暮らす場)とArtとの接点を探り始める。1999年、RIKI-TRIBAL創設。東京都国立市に於いて、老朽化した住宅を借り受け、プランターコテージを制作。「緑をまどう家(INAX BOOKLET)」にその様子が掲載。2009年より活動拠点を長野市に移し、30年間使われていなかった土蔵を改装したカフェMAZEKOZEを中心に、持続可能性をテーマとした活動を続けている。森と風のがっこうにおいては、2004年カフェで鉄の廃材利用のイス制作、2007年森のキッチン制作・指導。



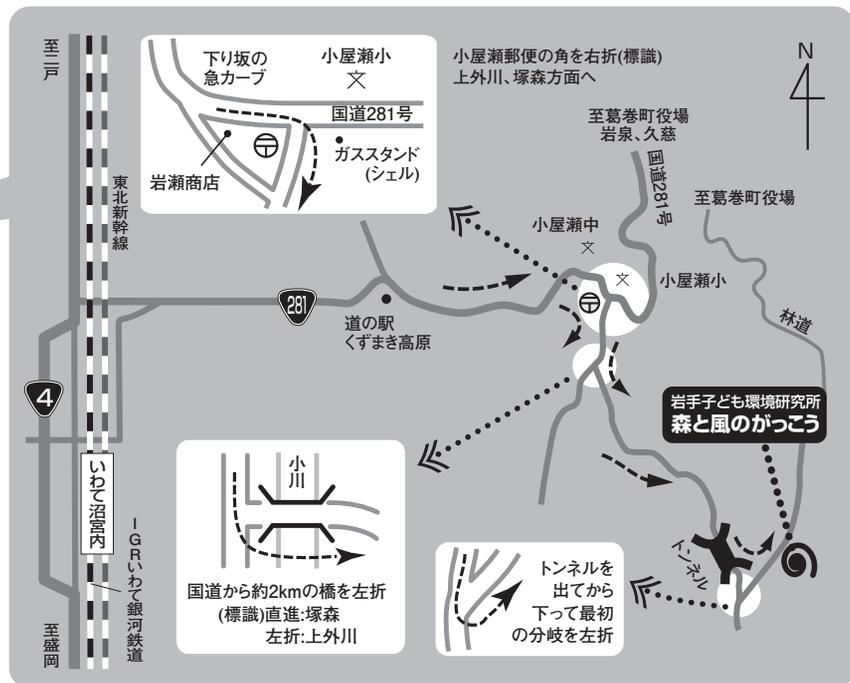
**5月 森の調査、9月 循環の森づくり担当**  
**外久保 篤雄**  
 (安孫自然塾代表)  
 地元葛巻町で生れ育ち、林業に四十数年従事してきた山仕事のプロ。2004年から自らが所有する山林を解放して安孫自然塾を主宰し、森林の大切さや山の暮らし知恵を多くの人々に伝えてきた。所有する山林には独自の規格の作業道を隔々まで張り巡らし、手の行き届いた管理を実践し、間伐材を活用したログハウス等も設置する。山仕事では邪魔者にされている木のツルや木の皮を使ったカゴづくりや端材を使ったイスづくり、木の実を付ける樹木や山菜の増殖などにも取り組む。岩手県が認定する「いわて森の達人」の一人。



**総合プロデュース、子育て講座担当**  
**吉成 信夫**  
 (NPO法人岩手子ども環境研究所 理事長)  
 心とからだのつながりを回復する演劇的手法をまなぶ。CIコンサルティング会社役員(東京)等を経て、岩手県東山町(現一関市)に家族で移住。岩手県一関市の「石と賢治のミュージアム」研究専門員を経て、森と風のがっこうを開校。2010年3月まで、県立児童館いわて子どもの森館長として、県内外の児童健全育成、子育て支援に深く携わってきた。森と風のがっこうのコーチーとして、北欧のライフスタイルにまなびながら、エコな生活提案を進める。今春、「ハコモノは変えられる!子どものための公共施設改革」(学文社)を出版。



**【公共交通機関】**  
 いわて沼宮内駅からバス、車で約40分  
**【自動車】**  
 東北自動車道滝沢ICから約1時間5分  
 東北自動車道一戸IC・九戸ICから約1時間



森と風のがっこうとは | 標高700m、12世帯の集落にある廃校を再利用したエコスクール。「もったいない、ありがたい」を合言葉に、自然エネルギーを取り入れた・循環型の生活スタイルを、身の丈にあったサイズで、体験を通して楽しみながらまなぶ活動、施設づくりを進めています。

お申し込み  
お問い合わせ



NPO 法人岩手子ども環境研究所(森と風のがっこう)  
 〒028-5403 岩手県岩手郡葛巻町江刈42-17 TEL&FAX 0195-66-0646  
 E-mail morikaze0@gmail.com URL http://www5d.biglobe.ne.jp/~morikaze